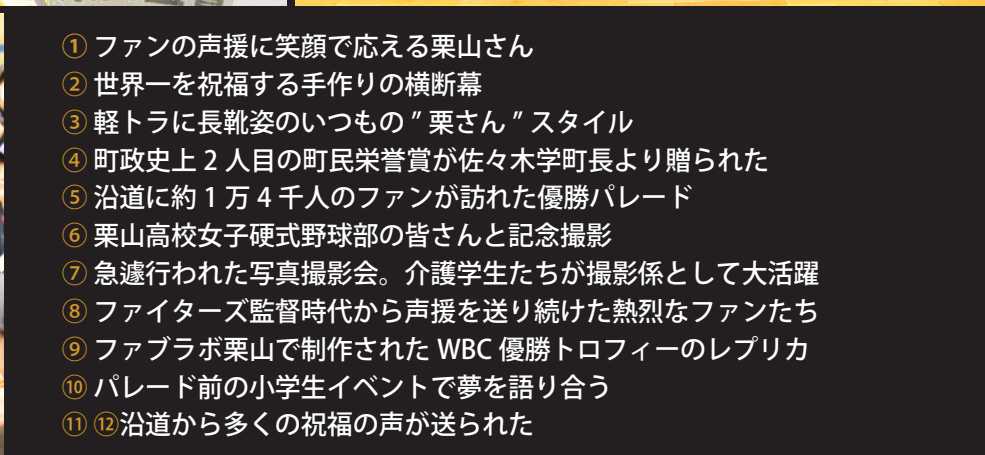
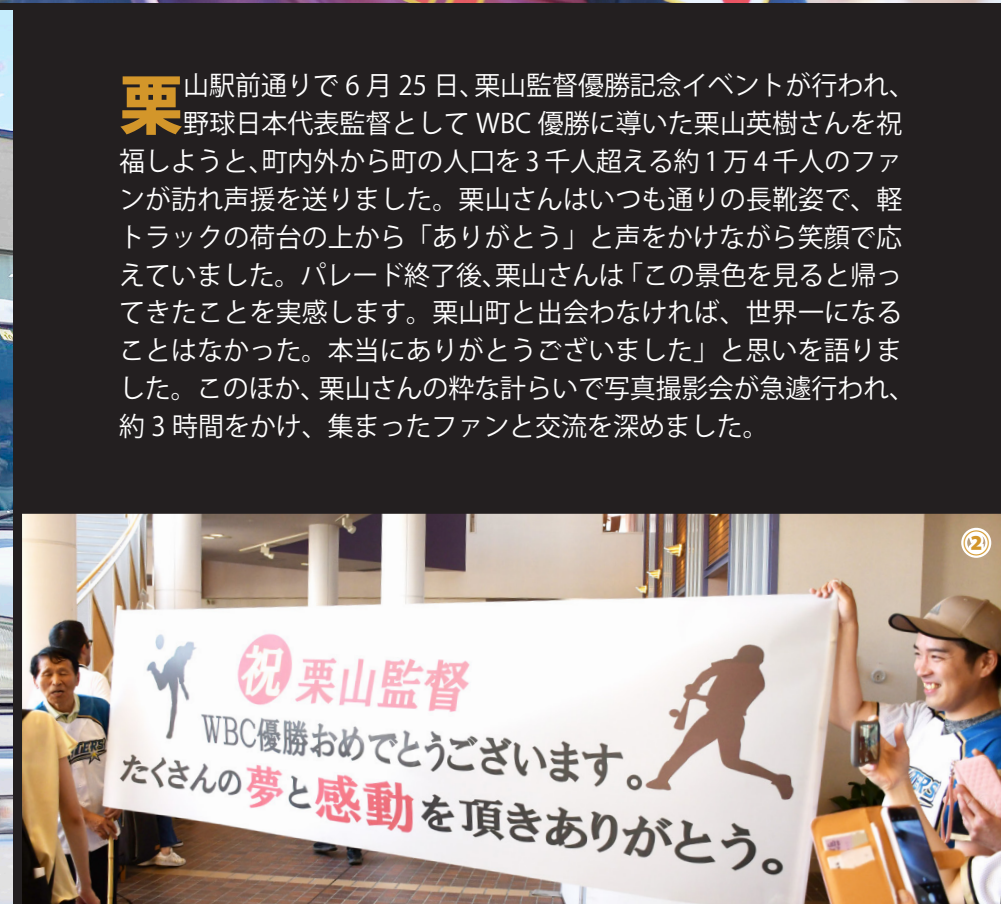




栗山から世界一に！ 優勝記念イベント

- ① ファンの声援に笑顔で応える栗山さん
- ② 世界一を祝福する手作りの横断幕
- ③ 軽トラに長靴姿のいつもの“栗さん”スタイル
- ④ 町政史上2人目の町民荣誉賞が佐々木学町長より贈られた
- ⑤ 沿道に約1万4千人のファンが訪れた優勝パレード
- ⑥ 栗山高校女子硬式野球部の皆さんと記念撮影
- ⑦ 急遽行われた写真撮影会。介護学生たちが撮影係として大活躍
- ⑧ ファイターズ監督時代から声援を送り続けた熱烈なファンたち
- ⑨ ファブラボ栗山で制作された WBC 優勝トロフィーのレプリカ
- ⑩ パレード前の小学生イベントで夢を語り合う
- ⑪ ⑫ 沿道から多くの祝福の音が送られた

栗山駅前通りで6月25日、栗山監督優勝記念イベントが行われ、野球日本代表監督としてWBC優勝に導いた栗山英樹さんを祝福しようと、町内外から町の人口を3千人超える約1万4千人のファンが訪れ声援を送りました。栗山さんはいつもの長靴姿で、軽トラックの荷台の上から「ありがとう」と声をかけながら笑顔で応えていました。パレード終了後、栗山さんは「この景色を見ると帰ってきたことを実感します。栗山町と出会わなければ、世界一になることはなかった。本当にありがとうございました」と思いを語りました。このほか、栗山さんの粋な計らいで写真撮影会が急遽行われ、約3時間をかけ、集まったファンと交流を深めました。



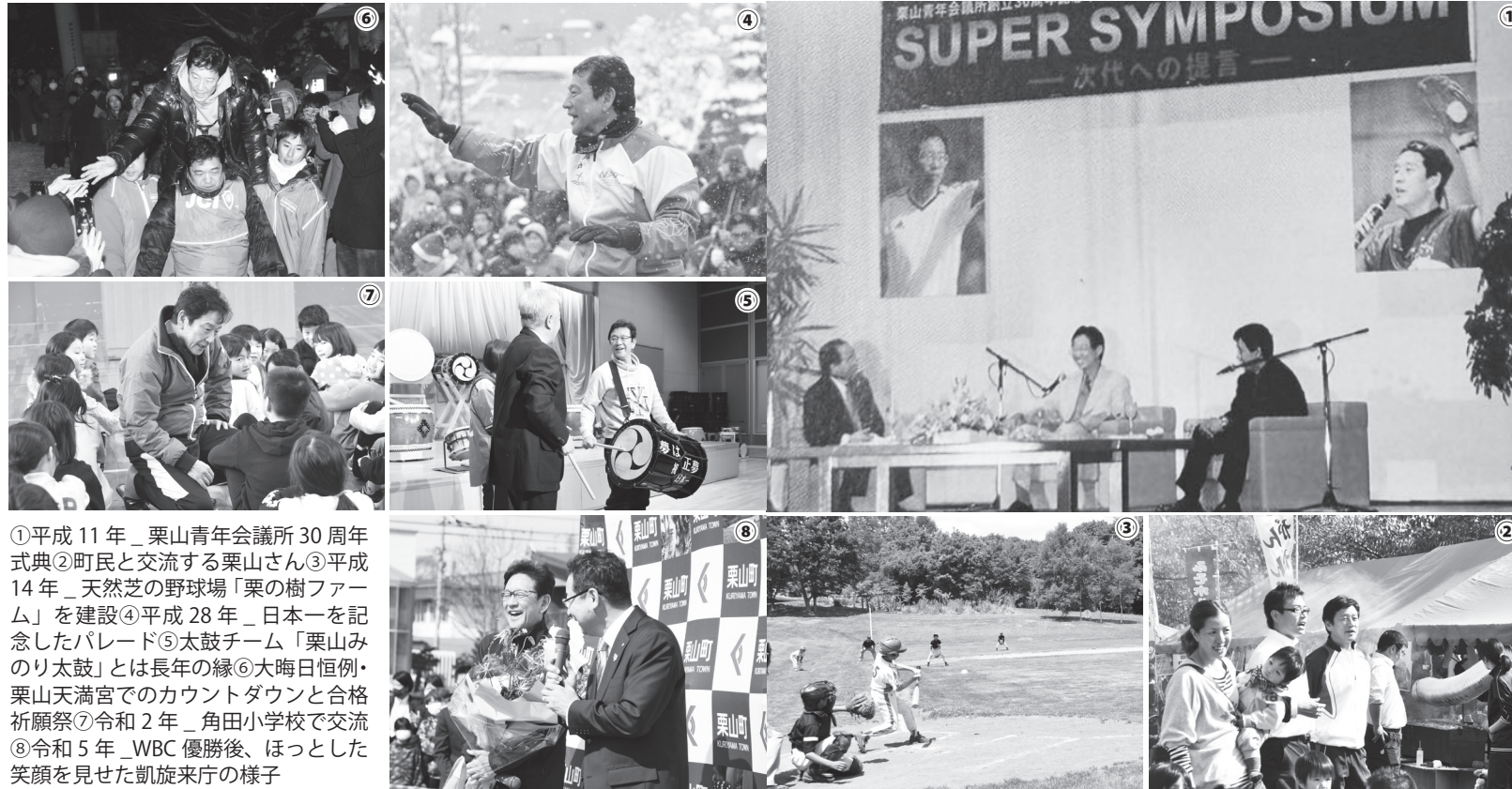


北海道日本ハムファイターズを
応援する栗山の会
会長 高杉 文浩 さん (58)

栗山さんとは 30 周年記念式典がきっかけで出会い、栗の樹ファーム建設期から交流させていただきました。平成 16 年にファイターズが移転してきた際も色々と相談にも乗っていただき、今でも会の「相談役」としてお世話になっています。その数年後、栗山さんが監督になった時は正直驚きました。もちろん事前に知らされてはならず、一報を聞いたときは嬉しくて飛び跳ねて喜びました。

以前、応援する会での観戦バスツアーの帰りの高速 IC で休憩中、試合後で疲れているはずの栗山さんが我々のバスに駆けつけていただき、御礼の一言をいただいたことも何度かありました。みんなはその度に大喜びで、栗山さんの優しさを改めて感じる瞬間でした。

監督を退任されたとき、「北海道の皆さんに感謝をできる限り伝えたい」と話されていたことを思い出します。栗山町の自然の中で心も体も癒して、次の「夢は正夢」に向かって頑張ってください。"栗さん" ありがとう。これからも応援しています。



①平成 11 年 _ 栗山青年会議所 30 周年
式典②町民と交流する栗山さん③平成
14 年 _ 天然芝の野球場「栗の樹ファ
ーム」を建設④平成 28 年 _ 日本一を記
念したパレード⑤太鼓チーム「栗山み
のり太鼓」とは長年の縁⑥大晦日恒例・
栗山天満宮でのカウントダウンと合格
祈願祭⑦令和 2 年 _ 角田小学校で交流
⑧令和 5 年 _ WBC 優勝後、ほっとした
笑顔を見せた凱旋来庁の様子

ら」と協力し、芝の整備、ハウスの建築、グラウンド整備などに力を貸したそうです。それ以降、町を生活の拠点とし、野球大会「ドリームカップ」や野球教室などで交流を深める一方、「栗さん」の愛称で町民として栗山の地で過ごしていました。さらに、平成 24 年からは北海道日本ハムファイターズ監督に就任。2 度のリーグ優勝（うち 1 回は日本一）を果たし、町内で 2 度パレードが行われました。令和 3 年に同監督を退任後は、日本代表の監督として WBC 優勝に導くなど、何度も私たちに感動を与えてくれました。

プロ野球選手として 7 年のキャリアを過ごした栗山さんは、その後評論家として活動されました。町との繋がりは平成 11 年に栗山青年会議所の創立 30 周年記念式典に「同じ名前」という縁から、講演を依頼されたことがきっかけでした。当時、映画「フィールド・オブ・ドリームス」に影響を受け、栗山さんは自身の野球場を作りたいと夢見ていました。町の人たちの温かさや豊かな自然環境に心打たれ、平成 14 年にログハウスと野球場を備えた「栗の樹ファーム」を湯地に建設。町民有志の方々が「栗さん」のためな

感動をありがとう、そしてこれからも
栗さんと歩んだ 24 年の軌跡

人と人の交流が 紡いだ 24 年の軌跡

ありがとう栗山英樹さん

町政史上 2 人目となる町民栄誉賞を受賞した栗山さん。WBC の功績だけでなく、これまで多くさんの夢と感動を与えてくれました。今回は 24 年にわたる栗山さんと町の交流を振り返ります。



Interview



北海道日本ハムファイターズを
応援する栗山の会

私たちにたくさんのことを教えてくれた

栗山町に来てくれてありがとう。その一言に尽きます。栗山さんが教えてくれた「信じること」「感謝の心」「人の気持ちを大切にすること」など、学んだことは数え切れません。以前、冬囲いやグラウンド整備など、栗の樹ファームのお手伝いにも参加していましたが、栗山さんも一緒になって作業を行い「ありがとうございます」と言いながら汗を流す姿に、素晴らしい人柄を感じました。今もファイターズが好きで長年応援できることは、栗山さんがいたからだと思います。忙しい日々が続くと思いますが「一町民」としてみんなとお話しをしたり、ゆっくりできる時間ができればいいなと思っています。

泉 真沙子 さん (86)

栗さんに出会えて本当によかった

初めて栗山さんが来町されたとき、そして栗の樹ファームを建設する時から交流しています。栗の樹ファームは当時の会議所メンバーと知恵を絞りながら、一緒に完成まで作業したものです。元プロの選手で著名な方でありながら、私たちにとても近い距離で接していただき、今と変わらずとても気さくで優しさをもつ方で、勝手に「兄貴」として慕っていました。その後、監督としてリーグ優勝・日本一・そして世界一と、私たちに「夢は正夢」の光景を何度も見せてくださり、栗山さんとお会えて本当によかったです。今後も栗山町が「栗さんらしく過ごせる場所」であれるよう、支えていきたいです。

元 栗山青年会議所メンバー

Interview



田上 孝臣 さん (57)

夢と感動をありがとう そして、これからも

WBC 優勝という最高の成績を残し、5 月末をもって野球日本代表監督を退任する。今後どのような道を進むかは、栗山さんにしか分からない。しかし、私たち町民は「夢は正夢」にし続けた“栗さん”を全力で応援し続けます。



町内在住の写真家

古林 義弘 さん (76)

ファインダー越しから見続けた日々

10 年以上前から栗山さんの写真をファンとして撮影しています。これまで撮影した数は 1 万枚ほどです。過去 2 回のパレードをはじめ、町内のイベントの場面で撮影していましたが、長年撮り続けることで栗山さんのさまざまな表情を見ることができます。ここ数年は疲れた様子を感じることもありましたが、時折見せる栗山さんのほっとした表情を見ると、とても安心します。特に印象に残っているのは、子どもを抱きしめる栗山さんの写真です(下記写真①)。試合中には見せない栗山さんの素の笑顔だと感じました。ファイターズ・日本代表監督として大変お疲れ様でした。これからは日常の様子も撮影させていただければと思っています。一ファンとしてずっと応援していきます。

①子どもを抱きしめ、リラックスした笑顔を見せる栗山さん(古林さん撮影)②これまで撮影した写真を保管している自宅のアトリエ③栗山手打ちそば愛好会が作る蕎麦が大好きな栗山さん。その近くで古林さんがカメラを構えている。



くりやま駅前通り商店街協同組合

伊藤 信之 さん (72) 仲井 浩祐 さん (46)
端 師孝 さん (41)



平成 28 年に北海道日本ハムファイターズが日本一となった瞬間。栗夢プラザは歓喜の輪に包まれた

これからも応援し続けたい

いつもふらっと商店街に足を運び、気さくに接してくれるのが栗山さんです。商店街のイベントにも何度か出演した際には、私たちが考えた企画にも笑顔で対応いただき、大変楽しそうに参加していました。この数十年間、リーグ優勝、日本一、そして世界一と、勝利の瞬間にはみんなで「栗さんありがとう!」と何度も声をあげ、涙を流して喜びました(下記写真)。最近はお客さんたちから「栗さんは次は何をするのかな〜」なんて話も聞きます。どんな道に進んでも「夢は正夢」を何度も見せてくれた栗山さんをこれからも応援したいと思います。もし、今声をかけるなら、ゆっくり休んで、落ち着いたらまた商店街に遊びに来てくださいと伝えたいです。



栗夢プラザで行われたクリスマス イベント
商店街に掲げられた WBC 優勝を記念するフラッグ

未来につながる 栗さんへのメッセージ

栗山さんがこれから挑戦すること、どんなことでも応援します。感動をありがとうございました。

WBC 本当にお疲れ様でした。感動しました。ゆっくりしながら、これからも頑張ってください。

WBC 優勝おめでとうございます。次は一緒に女子野球の舞台で! これからもお願いします。

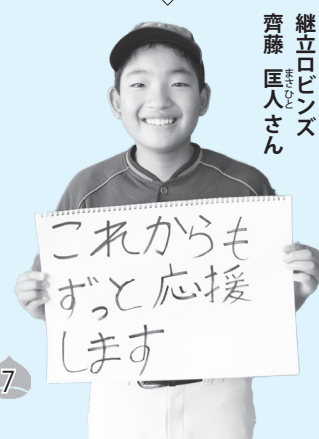
WBC の代表チームを見て、団結力の大切さを学びました。自分たちも見習って頑張ります。

別のステージでこれからも活躍されることを楽しみにしています。ずっと頑張ってください。

世界一になる瞬間はとても感動しました。これからも野球に関わる活動を頑張ってください。

栗山町の誇りです。ずっとこのまま町にいてほしいです。これからも頑張ってください。

「夢は正夢」。この言葉が野球を頑張った原動力です。感動をありがとうございました。



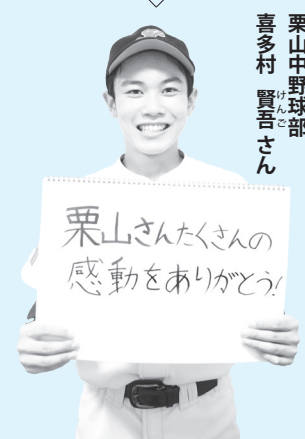
継立ロビンズ
齊藤 匡人さん



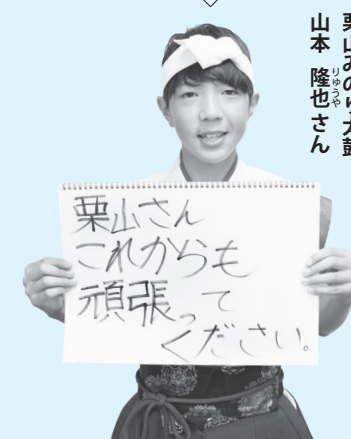
継立ロビンズ
大野 月煌さん



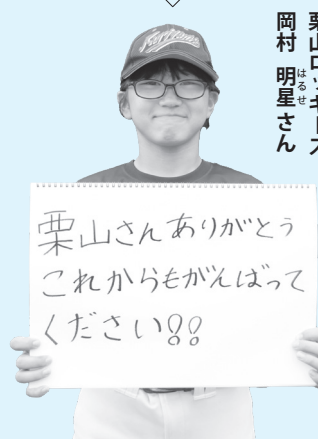
栗山高女子野球部
森 乃々花さん



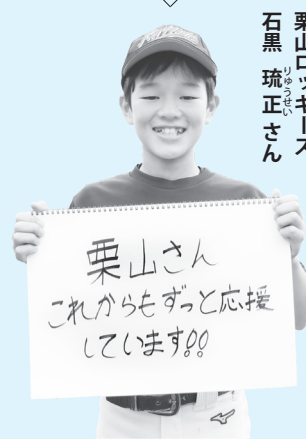
栗山中野球部
喜多村 賢吾さん



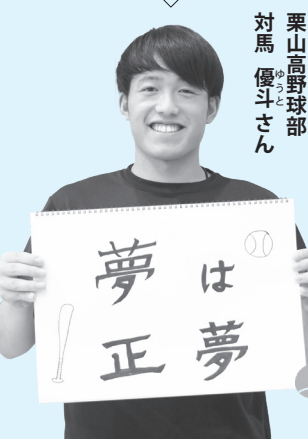
栗山みのり太鼓
山本 隆也さん



栗山ロッキーズ
岡村 明星さん



栗山ロッキーズ
石黒 琉正さん



栗山高野球部
対馬 優斗さん